

「保育施設職員のデスクワーク」

【調査目的】

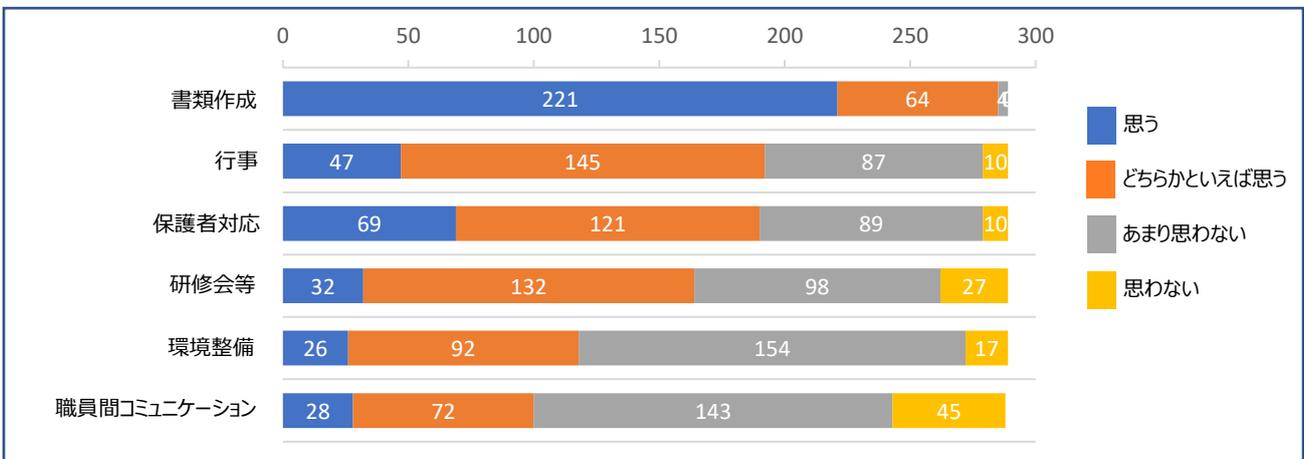
本会調査研究部会では、会員相互の情報共有を図ることを目的として、保育実態調査を実施しており、今年度は「保育施設職員のデスクワーク」をテーマに設定し、調査を行った。

1 調査対象&サンプル数

愛媛県保育協議会 会員施設 298 か所（有効回答数：289）

区分	公立	公設民営	私立	合計
集計数	162	17	110	289

2 保育業務の中で負担と感じるのはどのようなことですか。

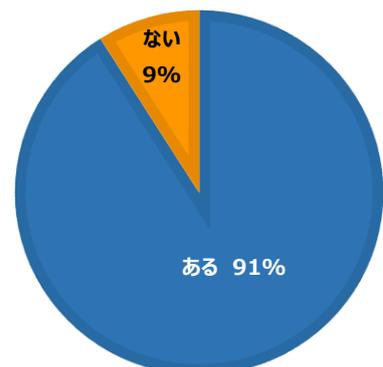


〈その他の意見〉

- ・園舎の構造上、保育しづらいところがある。
- ・早出や延長保育。
- ・キャリアアップ研修の時間が長すぎる。会場まで時間がかかる。
- ・クラス担任をしないパート保育士の配置や指導。
- ・消耗品の購入要求。
- ・写真のとりまとめ。
- ・地域との連携。

3 保育士等が使用できるパソコン・タブレット等の ICT 機器はありますか。

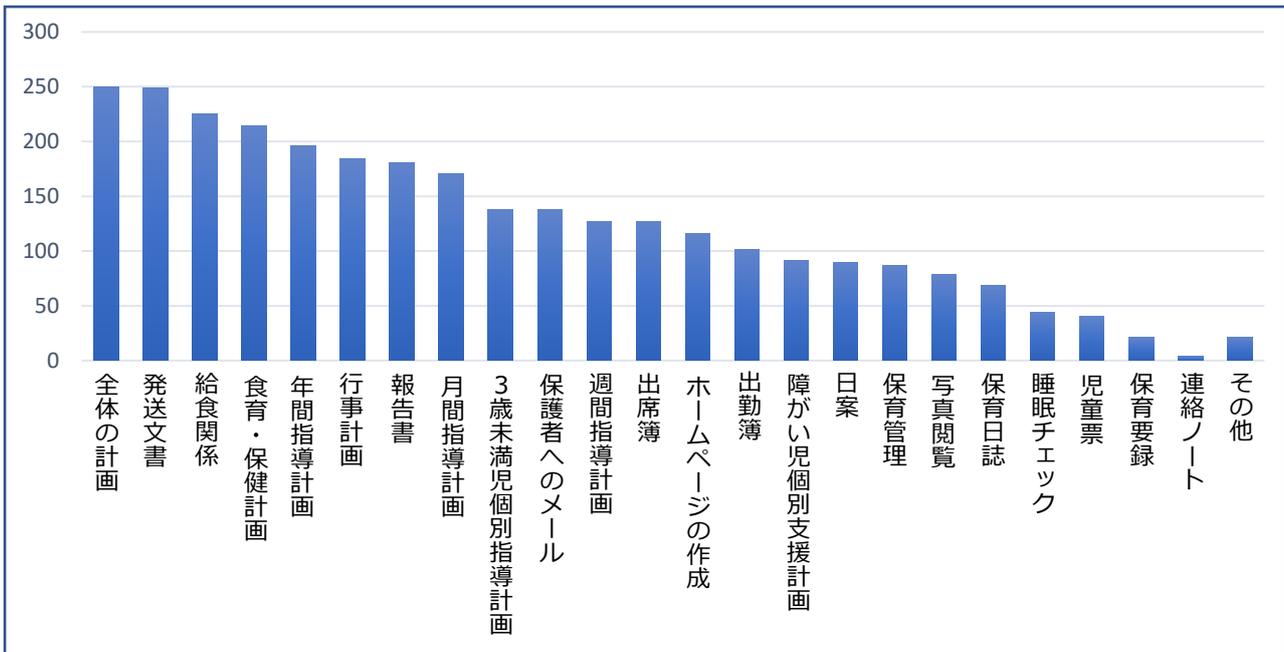
（有効回答数：289）



4 機器 1 台あたりの使用人数を教えてください。

平均 3.7 人

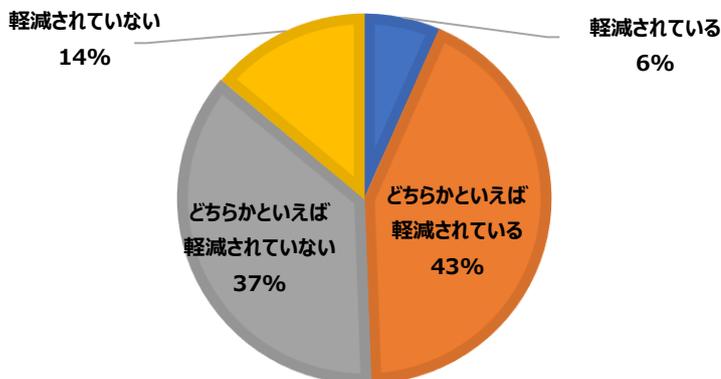
5 貴施設での機器使用内容について、当てはまるものに○を付けてください。（複数回答可）



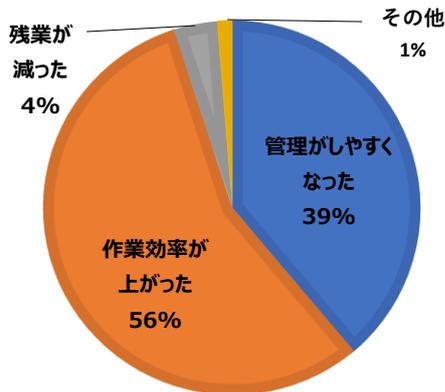
〈その他の意見〉

- ・ヒヤリハット、職員会議記録、動画撮影、音楽録音、保育材料等の注文
- ・掲示用の献立写真撮影
- ・延長保育、一時保育の書類等
- ・目標管理シート、巡回相談資料、超過勤務集計、人事評価、保育で使用するチェックカード（プールカード等）
- ・誕生日写真、卒園文集編集、DVD作成
- ・朝礼時の全体連絡
- ・子ども子育て支援センター事務作業
- ・経理関係
- ・研修計画及び報告
- ・登降園時間管理
- ・学童保育関係
- ・計画作成はパソコンで行うが、評価反省は手書きで記入している。

6 機器の導入によって業務は軽減されていると思いますか。（有効回答数：259）



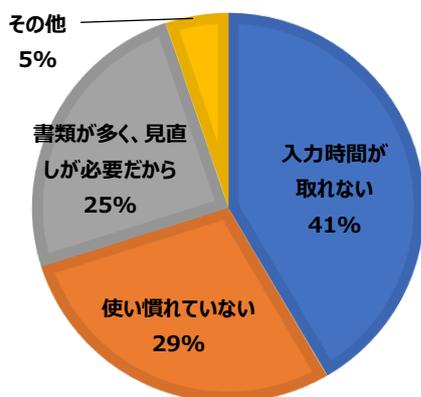
7 軽減されていると感じるのはどういう理由ですか。(複数回答可)



〈その他の意見〉

- ・パソコンの台数が増え、作業がしやすくなった。
- ・作業の内容による。機器の導入によって削減されたのではなく業務内容の見直しを図ることによって、軽減されたと感じているものが多い。
- ・手書きよりは時間短縮になっていると思うが、大幅に軽減された感じはない。

8 なぜ軽減されないと感じますか。(複数回答可)

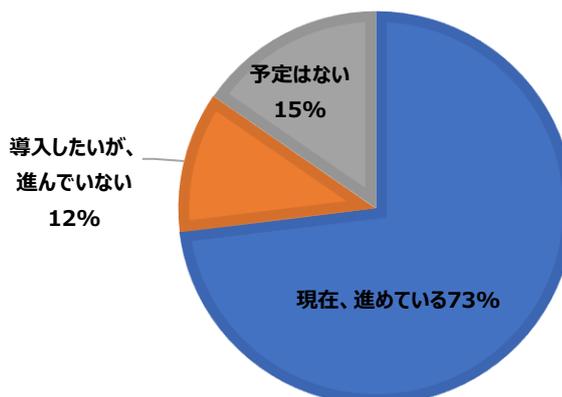


〈その他の意見〉

- ・フォームはパソコンで作成はできるが、日々の記録は手書きでないと対応が難しい。
- ・パソコンを導入しても職員のスキルが追いついていないのが現状。それらの入力を簡略化できるアプリが出ているようだが、ただ現時点では費用対効果で導入は考えてない。当面はアナログでの業務軽減方法を知恵を出し取り組んでいきたいと思う。
- ・人数に対してパソコンが足りない。
- ・保育計画、ローテーション表、出席簿、出勤簿などは、I C T化されていない。
- ・職員が自由に使えるものが1台なので使用が困難。
- ・業務がまだI C Tに移行してしていない。
- ・台数が少ない。
- ・本格的な導入は行われていない。
- ・あまり使わない。
- ・簡素化と言っても他に今までなかった書類や業務が増えていると思う。
- ・現在ある書類の数が減らない限り軽減にはならないと思う。

9 貴施設でパソコン・タブレット等のI C T機器を取り入れていく予定はありますか。

(有効回答数：26)



10 今後、貴施設で業務軽減のために I C T 機器を使い、取り組みたいことは何ですか。(自由記述)

項 目	回答数
園児の出席、登降園時間の管理	67
指導計画（年、月、週案等）や児童票等の書類作成	54
睡眠時チェック（S I D Sチェック）	28
保護者への連絡（連絡帳、緊急連絡、お知らせ、一斉メール送信）	21
職員の出勤管理、勤務表作成、労務管理	14
延長保育・一時保育の出席管理及び料金計算	12
園児の体調管理	5
給食費計算	3
投薬管理	2
その他	21

〈その他の意見〉

- ・感染症の人数把握等。
- ・アンケートや行事への出欠確認。
- ・身体測定表の入力、管理。
- ・音楽をかけたい（現在はC Dをレンタルしている）。
- ・データを一括化し、職員間で情報を共有したい。
- ・タブレットの通訳機能を使用して、保護者とのやり取りを行っている。助かる。
- ・カメラで写真を撮影後、自動的にパソコンに送られると、作業がしやすい。
- ・日々の様子を保護者がスマートフォン等を通じて見られるようにできたらいい。
- ・タブレットから保育日誌や週案等指導計画への反映。
- ・書類作成のための園独自フォーマットを作成中。
- ・機器を導入しているが、うまく使えていない。苦手な職員もいるため、練習期間が必要。
- ・機器の台数が十分でないため、使う時間が集中し、困っている。
- ・出席簿や午睡チェックにタブレットを導入しようと試してみたが、大変だったので、紙ベースに戻った。

【まとめ～アンケートの結果から～】

保育業務の中で事務処理等のデスクワークが、大きな負担となっていることが浮き彫りになる結果となった。

台数に差はあるものの、9割以上の施設で保育士が使えるパソコンやタブレット等 I C T 機器を保有しており、I C T 化が進んでいる施設が多く、園全体の計画や指導計画、給食関係の書類等の作成に活用されている。

保育士が使える I C T 機器がないと回答した施設でも、I C T 機器がデスクワークの軽減になると回答しており、今後、さらに導入が進むと思われる。

しかし、I C T 機器を保有している施設の中で、機器の導入によって業務が軽減されたと感じているのは、約半数であった。管理や作業の効率はよくなったと感じていても、入力時間が取れないことや使い慣れていない、さらには、書類の多さ等から I C T 機器を導入しても業務が軽減された実感しづらいのではないと思われる。

I C T 機器は、使い慣れないと負担に感じ、苦手意識を持ってしまふ傾向がある。今後、I C T 化はますます進むと思われるが、使いやすいソフトウェアを利用する等、使いやすい環境を整えることが重要である。そして、職員一人ひとりが、I C T 機器に慣れ、使いこなすことができるように、職員間の意識統一や情報の共有を行うことで、I C T 機器を十分に活用した業務軽減、ひいては日々の保育の質の向上につながると思われる。